

1 国際協力における国際開発コンサルタントの役割

農業、林業、水資源開発、交通、鉱工業、エネルギーから、保健医療、教育、経済、行政、社会一般まで私たち先進国が持っている途上国が欲している専門知識や技術は多岐にわたって存在する。国際開発コンサルタントはそれらの技術を保有する専門職員を現地に派遣し、途上国に住む人たちの生活を少しでも豊かにする企業だ。必然的にその扱う分野の裾野はとても広い。具体的な仕事内容の例を挙げると、一国の開発計画の作成支援業務などから、橋架、道路整備、農村の小規模な給水施設を作るなどがある。いずれにせよ現地のニーズ調査が非常に重要になってくる、現地の生活に密着した仕事である。

2 印象に残ったキーワード

私はキーワードとして「専門性」という言葉が印象に残った。将来そのような現地に密着した形で貢献したいと思うなら専門性がどうしても必要になってくるだろう。この事実は未だに専門がはっきりしていないことに対する焦りとこれからの自分の可能性に対する期待というかたちで私に迫ってきた。

引用、参考：<http://www.ecfa.or.jp/japanese/consul/> (2015/04/23)